

指標 5.2.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 5.2.2 過去 12 か月間に親密なパートナー以外の人から性的暴力を受けた 15 歳以上の女性や少女の割合（年齢、発生場所別）

ターゲット 5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべて女性及び女兒に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。

ゴール 5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う

定義及び根拠

○ 定義

指標 5.2.2：不同意性交等された被害経験があり、加害者が配偶者・元配偶者、交際相手・元交際相手以外の女性の割合

○ 概念

不同意性交等とは、本人の同意がないにもかかわらずなされた性交等をいう。

性交等とは、性交、肛門性交又は口腔性交又は膣・肛門に身体の一部もしくは物を挿入する行為を指す（2014 年以前は、性交のみ。2020 年以前は性交・肛門性交、口腔性交のみ。）。

配偶者には事実婚関係にある者も含む。

○ 根拠及び解釈

女性に対する暴力は、ジェンダーに基づく暴力の最も一般的な形態である。この指標は、この問題の規模を測定し、さまざまな形態の暴力とその影響を理解し、リスクの高いグループを特定し、援助を求めることに対する障壁を探り、適切な対応が提供されるようにするために必要な被害経験に関するデータを提供する。この指標を恒常的に追跡することで、変化を監視し、介入の有効性を評価することができる。

データソース及び収集方法

「男女間における暴力に関する調査」

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/h11_top.html

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

指標 5.2.2：不同意性交等された経験がある者に対する加害者との関係を尋ねた設問回答者数から、「配偶者・元配偶者」以外の数値（2011年調査）又は「配偶者・元配偶者」及び「交際相手・元交際相手」の回答件数を除いた数値（2014年調査以降）÷調査における女性の各年代の有効回答者数×100

○ コメントと限界

- 15歳～17歳のデータはない。
- 過去1年以内に限定した被害経験のデータはない。
- 「男女間における暴力に関する調査」は、1999年に開始し、以降3年ごとに調査を実施している。調査対象は2020年調査までは20歳以上の男女、2023年調査は18歳以上59歳以下の男女。

データの詳細集計

年齢区分別※（18歳～19歳、20代、30代、40代、50代）

※2020年調査までは20代、30代、40代、50代、60代以上

参考

「男女間における暴力に関する調査」

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/h11_top.html

データ提供府省

内閣府

関連政策府省

内閣府、警察庁

担当国際機関

国連女性機関（UN Women）

国連児童基金（UNICEF）

国連統計局（UNSD）

世界保健機関（WHO）

国連人口基金（UNFPA）